



家畜衛生だより

令和3年度第8号(豚) 令和3年7月発行

南部家畜防疫協議会
(公社)千葉県畜産協会
千葉県南部家畜保健衛生所
〒296-0033 鴨川市八色52
電話 04(7092)2304
FAX 04(7092)1434

豚熱ワクチン接種農場における豚熱の患畜確認に伴う 今後の発生予防対策について

第15回拡大豚熱疫学調査チーム検討会において「豚熱ワクチン接種農場における豚熱の患畜確認に伴う今後の発生予防対策(提言)」がまとめられました。

参照:農林水産省HP「豚熱ワクチン接種農場における豚熱患畜確認に伴う今後の発生予防対策(提言)」
「第15回拡大豚熱疫学調査チーム検討会」の開催概要について

発生予防対策(提言)

1、衛生管理区域への野生動物の侵入防止対策及び人や車両の進入時の衛生対策

適切な網目・適切な高さの防護柵等を隙間がないように設置しましょう。

車両は十分な圧力のある動力噴霧機等により、予め残存物を除去したうえで、適切に洗浄と消毒を行いましょ。消毒ゲートや消石灰帯による消毒を行っている場合でも、タイヤの溝等に土壌が残存していると十分な消毒効果が得られません。

2、作業着・手袋・長靴の交換並びに交差汚染防止

豚舎ごとに長靴、衣服、手袋(または手指の洗浄消毒)を設置し、交換前後の動線が交差しないようにしましょ。また、屋外で敷料を保管する際はブルーシートや建屋で覆い、野生動物や野鳥の接触を防止しましょ。

3、ワクチン接種農場における免疫を獲得していない豚群への対応

豚舎に出入りする際は、靴や衣服の交換、手指や一輪車の消毒をしましょ。

豚舎開口部には防鳥ネット等を設置しましょ。

健康観察をし、異常が認められた際は早期通報を徹底しましょ。

4、消毒薬の選択及び交換頻度

適切な消毒薬を、正しい濃度で使用し、定期的に交換しましょ。

5、農場内作業動線及び作業手順

豚舎間の移動の際は、可能な限り消毒済みのケージ等を利用しましょ。

6、教育訓練等

飼養管理を行う者を明確にし、消毒や作業手順についてマニュアルを作成するとともに、定期的な教育や訓練を実施しましょ。

消毒薬の交換記録簿を作成するなど、確認手段を設けて、衛生対策の実施状況を把握しましょ。

7、適切な豚熱ワクチン接種について

接種日、接種者等を記録し、接種状況を把握しましょ。

8、野生いのししの陽性確認を踏まえた農場侵入リスクの認識について

飼養豚での発生においては、陽性のいのししそのものではなく、野生動物等を介してウイルスが侵入した可能性が指摘されています。陽性のいのしし発見地点の遠近にかかわらず、周辺環境中に存在するウイルスの侵入リスクが高いことを認識し、衛生管理区域・各豚舎における衛生管理を徹底しましょ。



ワクチンを接種しても100%の豚が免疫を獲得するわけではありません。
飼養衛生管理基準の遵守徹底を引き続きお願いします！